

○研修部

1. 基本的な考え方

東京協会の実務従事支援部、実務補習運営委員会、理論政策更新研修運営委員会の各事業を円滑に進めるための活動、および支部会員の実務経験機会拡充の活動に取り組む。

(1) 実務従事ならびに実務補習においては、参加者の資格の取得・維持・向上のため、指導員の担い手の確保、指導員の指導技術の向上、指導員による実務案件提供の推進を行う。

(2) 理論政策更新研修においては、参加者の資格の維持・向上のため、社会情勢にあったテーマの採用、講師の担い手の確保を行う。

(3) 会員（特に企業内診断士）への実務経験機会を拡充し能力向上に寄与する。

2. 事業計画

(1) 東京協会実務従事支援部への参加（支出：0万円、東京協会が負担）

- ・春秋マッチング会：準備および当日の事務局活動（月1回以上）
- ・案件の事前審査（年15件程度）
- ・指導員、副指導員登録申請の事前審査（年5名程度）
- ・実務従事案件の提供について情報発信
- ・指導員、副指導員の登録について情報発信

(2) 東京協会実務補習運営委員会への参加（支出：0万円、東京協会が負担）

- ・春秋の実務補習：準備および当日の事務局活動
- （班編成会議、指導員会議、初指導員研修、開講式、報告書受付、修了式）

(3) 東京協会理論政策更新研修運営委員会への参加（支出：0万円、東京協会が負担）

- ・準備会議（年3回）
- ・年間スケジュールの作成と講師の確保
- ・実行委員向け説明会
- ・当日の事務局活動

(4) 実務従事ならびに実務補習指導員のスキルアップ

（支出：研修会講師謝金 @3万円×4名、部員交通費 4万円、会場費等 4万円）

- ・指導員間での情報共有会議の開催（2回程度）
- ・指導員、副指導員への登録希望者に対するノウハウの提供（研修会2回程度）
- ・副指導員登録希望者と指導員のマッチングの実施（研修会以降 随時）

(5) ホームページ制作基礎講座の開催および小規模事業者向けホームページ制作支援の実施

収入：18万円〈参加費 @1万円×18名〉

支出：28万円〈リーダー・講師謝金 @3万円×8名、会場費等 4万円〉

収支差額：△10万円

小規模事業者のホームページの制作支援を切り口として、会員（特に企業内診断士）に企業支援を経験して、独立の際にも役立つ実務能力向上の機会を提供する。

①ホームページ制作基礎講座

ホームページの制作支援に必要な基礎的スキルを身につける講座を提供する。

- ・時 期：5月と8月の2回（同一内容）
- ・講 師：三多摩支部会員を想定
- ・会 場：0iF 八王子館・国分寺館、むさし府中商工会議所等

②小規模事業者向けホームページ制作支援

小規模事業者を訪問し、ホームページ制作支援を通じて事業改善を提案する。

- ・リーダー：本制度の参加経験者で一定のスキルを有する会員から選定
- ・規 模：6社程度（1チーム構成は原則としてリーダー1名とメンバー3名）
- ・参 加 費：1万円/人

(6) 研修部運営会議の定期的な開催（支出：部員交通費 4.8万円、会場費等 2万円）

- ・支部内にて運営会議を開催（6名×4回）